

平戸

令和8年8月31日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町 542 番地
TEL 045-821-2329
FAX 045-826-2005



学校 HP・校長室だよりが更新されています。ぜひご覧ください。
(閲覧数8/28 現在 121479人)



繰り返し

校長 若色 昌孝

処暑を過ぎ、だいぶ暑さもやわらいできましたが、皆様、ご体調はいかがでしょう。明日から9月、今年も平戸のまちに訪れる小さな秋を子どもたちと見つけながら、過ごしたいと思います。

この夏、私は、ある幼稚園の教育の場を見る機会を得ました。子どもたちが、自分の世界に没頭して遊ぶ姿が印象的でした。特に気持ちが惹かれたのは、子どもたちが、同じ遊びを何度も繰り返す姿でした。積み木のような玩具をひたすら積み上げ、倒す姿。4つ積み上がった後、5つ目で倒れたり、6つ積み上げて、7つ目で倒れたり。楽しみながら何度も何度も繰り返していました。別の子は、2、3m先に小さな木片を立てて、ビー玉を転がしその木片を倒して遊んでいました。倒れなかったらビー玉を拾いに行って、また転がす。木片が倒れたら、起こして立てて、またビー玉を転がす。その繰り返し。先生方は、上手くいくポイントを教えるでもなく、ただただ、子どもたちの姿を見て一緒に喜んだり、残念がったり。ここに教育の大切な一面を見た気がしました。

繰り返し取り組む。夢中になって取り組む。結果や評価を気にするより、楽しいから何度でも取り組む。そして、いつしかできるようになり、できなかった時の自分の姿などみじんも感じさせぬほどの自信をもって、次のことにチャレンジしていく。それでいいのだと思います。私たち教師は、ついつい、1回1回の子どもの試行に工夫を求めたり、一度の失敗に対して振り返りをさせ、すぐに改善を求めたりしてしまいます。しかし、できない自分を気にするのではなく、いつの間にかできるようになったことを喜んで、また次の一步を踏み出す…そんな子どもの姿を待ってもよいような気がします。そう、赤ちゃんが初めて寝返りができた時のように…。

私たちは、『一回でできる子』を育てたいのではありません。出来なかったら、もう一回、もう一回…と『自らの意思で繰り返す子』を育てたいです。歴史や社会の中には、繰り返してはいけないことも多くあります。しかし、教育の場においては、人を傷つけないことであれば、その先の何かをつかめてもつかめなくても、何度でも何度でも繰り返し取り組むその姿が、子ども自身の明日をつくると信じています。平戸小はそういう子を応援し続ける場でありたいと思います。

